

平成28年度 第1回 大阪府立港南造形高等学校 学校協議会 議事録

日時： 平成28年6月22日（水）午後4:00～

場所： 校長室 記録： 首席

配付資料一覧

- 1 平成28年度 大阪府立港南造形高等学校 学校協議会 配席図
- 2 大阪府立港南造形高等学校 学校協議会 実施要項
- 3 平成27年度 学校経営計画及び学校評価
- 4 平成28年度 学校経営計画
- 5 意見書についての保護者通知文
- 6 平成27年度 進路状況一覧
- 7 本校における入学者選抜の志願動向
- 8 平成29年度使用教科用図書選定理由書
- 9 美術系大学・短大合同説明会チラシ

1. 学校長挨拶

- ・校長として2年目ということで今年度は真価の問われる年。今年度もいろいろとご意見を頂きたい。
- ・昨年度の協議会のアドバイスをうけて
 - ①中学校の美術の先生とできるだけコンタクトを図っている。
 - ②学校教育自己診断で「悩みや相談に対してアドバイスしてくれる先生がいる」という設問で肯定的回答が75%であったのが残りの25%の生徒をゼロに近づけるべく、各学年に教育相談の負担を置いて、体制を強化した。
- ・新年度になってからの流れについて
 - ①1年生芸術鑑賞の報告（5月2日）：出発を早め、館内で弁当を食べるようにして鑑賞の時間を延ばした。
 - ②土曜日のデッサン講習会：多くの2・3年生が熱心に取り組んでいる。
 - ③全国美術系大学・短期大学合同説明会（6月11日）：参加生徒数の増。他校生徒数も増。
 - ④第1回学校説明会（7月9日）：3年生の卒業制作の授業を見学してもらい、学校のことを知ってもらう。学校HPの改訂により、外部参加者がインターネットで参加申込ができるようになった。
 - ⑤大阪府自転車条例：損害賠償保険（加害）への加入が義務付けられた。全国高等学校PTA協議会の保険（年間300円）に全員加入（7月1日～）。
 - ⑥今年・来年と本校で大規模工事が行われる。

2. 委員自己紹介及び事務局自己紹介

3. 会長選出及び会長挨拶

全会一致で、会長を選出。

（会長）港南造形の生徒の素晴らしさをもっと知らせたい。地域に根差した高校になってもらいたい。

4. 協議

- （1）平成28年度学校経営計画について

(校長)・平成 27 年度学校協議会からの意見について説明

第 1 回 (6 月 25 日) 志願者が減っていることについては、校内の改革に加えて、中学校の美術教員への広報が必要。

第 2 回 (10 月 29 日) コンピュータを使った授業については、今年 20 台のタブレットを揃えてその活用について試行錯誤している。

第 3 回 (1 月 27 日) 海外研修の再開に向けて検討した結果を後ほどお知らせする。

・平成 28 年度学校経営計画について説明

- 1 めざす学校像
 1. 社会人として必要な基礎学力と言語表現力
 2. 生徒が進みたいと思う進路について考える環境を整える
 3. 他校生も参加できる全国美術系大学・短期大学合同説明会の実施など、美術造形教育のセンター校としての役割

2 中期的目標

1. 基礎学力と言語表現力の養成

- ・家庭学習強化週間の定着 試験 1 週間前に「提出を求めない課題」を出して生徒たちに学習を促す
- ・読書活動の充実に加え調べ学習 1 年生の国語の授業での「ポップ作成」について紹介
- ・プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の育成 昨年度 4 単位から 6 単位に増えた卒業制作の授業を活用して、昨年度初めて全生徒にプレゼンテーションをさせた。さらにその中から代表 19 人を選んで、3 年生全員の前でプレゼンテーションを実施した。
- ・他者の考えも認め、互いにたたえ合えることができる力の醸成 芸術を目指す者として他人の良さを見つけてそれを言葉にすることが大事なことであるので、今年度この項目を加えた。昨年度から高校入試に導入されたアドミッションポリシーに基づくものである。

2. 将来展望がもてる進路指導の実現

- ・国公立・難関私立大進学実現の進路指導体制 途中であきらめず最後まで追い求めていけるような体制
- ・部活動加入者数 5 月の時点で既に 110% (本校生は 2～3 の部活動に加入している生徒がいるので)

3. 美術造形教育センター校としての役割

- ・HP の充実等による積極的な広報活動

後で本校HP のリニューアルについて報告する。

- ・海外研修旅行

テロの影響で昨年は中止したが、今年もヨーロッパの情勢は安全であるとは言えない。昨年度の学校協議会で、訪問先をアメリカやアジアなどに広げて考えてみてはという助言を頂いた。そこでアジアで台湾について検討したところ、東洋芸術の第一級品が集まっている国立故宫博物院の見学、2 年に 1 度の交流が続いている国立台中第一高級中学への訪問、『千と千尋の神隠し』の舞台のモデルと言われている九份 (きゅうふん) の観光など、3 泊 4 日で 10 万円程度の旅費で実施可能であることがわかり、今後大きな問題点が見つからなければ、海外研修旅行先を台湾とする

方向で今のところ準備を進めている。

(委員) 他者の考えも認め、互いにたたえ合えることができる力の醸成ということについて、批判がいけないのではなく、批判を受け入れる・理解することも含まないと、お互いをたたえ合っているだけと捉えられるのではないか。大学でもディベート力を高めてくれと要望されるが、今の若者たちは堂々と自分の意見が言えて、大学生のディベート力は高いと感心している。高等教育でのプレゼン・ディベート力を高めるということは、おそらくそうしたこと（批判がいけないのではなく、批判を受け入れる・理解すること）も含まれてのことだと思う。ことばの上でのことかもしれないが、そのように認識していただいたほうがよいのではないか。

(委員) 人はなかなか良いところに気付けないというところがあるので、このような書き方をされたのだと思う。良いところと悪いところをしっかりと見ながら、できれば良いところも言ってあげるような感じでよいのではないか。

(委員) プレゼンテーションのソフトは何を使っているか？自分はこれまでイラストレーターやフォトショップを使ってきたが、大学ではPowerPointを使うように要望されている。大学卒業後、会社に入ったときに必要であるからだろう。

(事務局) 本校の生徒はPowerPointを使っています。

(委員) 施設の改善についてとあるが、機械化がどんどん進んでいるが、何か新しい導入があるのか。

(校長) 後で説明するように大規模工事が今年始まる。30年経った施設であるので、安全確保が主目的であるが、空調などの更新も同時に進めていく予定である。

(委員) 地域でお借りして展示している卒業生の絵に額をつけると絵が良くなった。額によって作品の雰囲気は全く変わる。

(委員) 高校展などでは、木を打ち付けただけの仮枠と決められているが、府県によってはちゃんとした額に入れることを推奨しているところもある。

(委員) 私たちが考えているのは、既製の額縁ではなく、自然素材を使って額縁を造ることが一番良いと思っている。機会があれば是非教えたい。

(委員) 生徒に、額縁の作品の一部であるということをお教えるのも大事なかもしれない。

(委員) ICTの底辺が広がりネット利用の割合が高くなっている。高校で教える情報モラルも刻々と変わっている。NTTなどの企業が中学生や高校生にむけて研修を行っているが、実際にはタイムラグが起こっており、研修で教えられているモラルよりも、実際に子どもたちが使っているものはもっと進んでいる、込み入っている、マニアックになっている。子どもたちに考えさせながら常にバージョンアップさせるという取組みの事例もある。情報モラルについて学校で取り組む際に、先生・親という大人の側の意識ばかりでなく、子どもたちにも考えさせる双方向の取組みをされてはどうか。また、作品づくりにおいて、ネットで取った素材を使用する問題。著作権がフリーかどうかの確認がおろそかになりがち。ネットに書かれてある事が本当に正しいのか？使用してよいものなのか？人を傷つけないとか、過度に自分を出しすぎないように、といった情報リテラシーも基礎学力に含まれるのではないか。

(校長) ご指摘の通り。

(委員) たくさんご意見をいただいたが、だいたいはこの形でOKということよろしいですか？

(全員) 異議なし。

5. 報告

(1) 教育活動に関する意見について

(教頭) 6月24日に配付、意見書の提出について説明、意見の取り扱いについて説明。もし意見書を頂いた場合、臨時の学校協議会を開催させていただく場合もある。

(委員) 他校で臨時に協議会が開かれた例はあるか。

(校長) 他校のようすを確認しておく。

(2) 11期生の進路状況について

(事務局) 11期生3月末の状況。進学者の割合はほぼ例年並み。8割強が進学、その内の8割強が造形系への進学。国公立進学は8名とあるが合格者は9名である(1名が2校合格)。昨年度の15名と比べると少ないようだが、ここ数年間の数で考えると9名という数字はかなり健闘したのではないかと考えている。

(委員) 「ESPギタークラフトアカデミー」は造形系の進学にはならないのか？

(事務局) どれを造形系として扱うかは難しいところがある。確かにクラフトという意味では造形系に入れてもよいかもかもしれない。

(委員) 「大阪市立デザイン教育研究所」の今後の存続は？

(事務局) 昨年度が最後という情報もあったが、今年度も募集を続けているようだ。

(3) 平成28年度高等学校入学者選抜の結果について

(校長) 志願者数で若干の回復ができた。男子の志願者が増加。一昨年と比較すると約1.5倍に。それにともない男子の合格者も増加。

(委員) 男子46人ということだが、各クラスに男子を入れたのか？

(校長) 1～4組を男女クラス。5組だけ女子クラスとした。体育の授業の都合。

(委員) 全国的に見た美術系の高校の入学者の状況はどうか？定員割れの学校が多いのか？

(校長) 校長間の情報交換では、定員割れというところまでは聞いていないが、決して楽な状況ではないようだ。

(委員) 今年、美術系の大学では結構定員割れがあった。

(委員) 今後、子どもの数が減って行く中で200人の確保はむずかしいだろう。芸大でも定員割れが問題となり、単独で洋画・日本画・彫刻といった分野が「科」として存続できなくなり、まとめて「造形学科」「芸術学科」になっているところも。高校からの連携がしにくくなってきていると感じる。

(委員) 中学校への働きかけで裾野が広がり、大学まで繋がってほしい。

(4) 学校HPのリニューアルについて

(事務局) 7月7日に公開できるように作業を進めているところ。7月9日に第1回目の学校説明会があるのと、去年のアクセス解析によれば、9月初旬にアクセス数が極端に減ったことから9月初旬に進路を決定する中学生が多いのではないかと考えたため。基本的には今までのHPの内容を引き継いでいるが、情報の再整理をした。せっかくの機会なので、在校生に意見を聞いたところ、生徒は、入学前にHPを見て入学後の高校生活をイメージしているらしいことがわかった。入学前も入学後もいちばん注目しているのは、「生徒の作品」のページだということで、クリックすると個別の作品を拡大表示できるように、またスライドショーで見られるようにした。また、今までは特定のPCからしか更新ができなかったが、これからはいつでもどこでも(携帯電話からでも)更新ができるようにした。「お問い合わせフォーム」を設置。学校説明会の際には、ホームページから申し込みが可能になる。モバイルからのアクセスが全体の65%

を占めているので、モバイルに対応できるHPに変更した。閲覧できる内容もPC版と変わらない。

(委員) 学校からHPを通じて生徒へメッセージを出すことはあるのか？

(校長) 毎日学校に来るため、直接生徒にHPを見るような指示はしていないが、保護者に対して情報提供ができるので、このHPの中にPTAのブログも同時に作成している。

(5) 平成29年度使用教科書の選定作業について

(教頭) 教育庁に提出する様式の説明。どのような経緯で教科書を決めているのかについて、学校協議会で説明することで公正な選定と透明性を確保することになっている。選定経過の概要の説明。現在、各教科で検討中である。第2回学校協議会で最終選定教科書の報告をする。

(6) その他

(教頭) ・大規模改修工事について

校舎等の外壁タイルの検査・洗浄、タイル面以外の部分の塗装、屋上の防水、古いクーラーの交換、体育館屋根の軽量化工事、体育館の照明をLEDに交換、また来年度は体育館の壁の塗り替えを予定している。騒音による迷惑はほとんどないと思う。

(委員) 18歳から選挙権が与えられることになったが、選挙について学習できるようになれば良いと思うが。

(校長) 文科省が示しているとおり、社会科の授業を中心に、まずは3年生から順次指導している。

6. 事務連絡

(教頭) 連絡先の変更の確認。電子メールで連絡を取らせていただきたい。10月に第2回を実施する予定。近づいたら日程調整をさせていただく。